

2024年6月14日  
株式会社東陽テクニカ

**Interop Tokyo 2024**  
**『Best of Show Award』テストング部門で**  
**「Spirent TestCenter 400G AI/MLネットワークインフラ・**  
**テストソリューション」がグランプリを受賞**  
**他4製品が審査員特別賞受賞**

株式会社東陽テクニカ(本社：東京都中央区、代表取締役社長：高野 俊也、以下 東陽テクニカ)は、最新の ICT とそのソリューションを体感できるイベント「Interop Tokyo 2024」の『Best of Show Award』で、東陽テクニカ取り扱いの Spirent Communications 社製品をはじめとする、全 5 製品が受賞したことをお知らせいたします。

『Best of Show Award』は、出展企業各社からエントリーされる選りすぐりの新製品を、有カメディア各社のキーパーソンと、学术界の識者によって編成される審査委員会が審査し、「今年の一品」を決定、表彰するものです。

今回、「Spirent TestCenter 400G AI/ML ネットワークインフラ・テストソリューション」がテストング部門グランプリを受賞。その他、同部門とマネジメント&モニタリング部門、ShowNet コンピュータ部門で 4 製品が審査員特別賞を受賞いたしました。テストング部門でのグランプリ受賞は昨年に続き 2 年連続での受賞となります。

**【 グランプリ受賞製品 】**

**「Spirent TestCenter 400G AI/ML ネットワークインフラ・テストソリューション」**



AI/ML 向けデータセンタネットワーク用に RoCEv2、PFC、ECN を駆使して実現される、ロスレスイーサネット用最新テストソリューションです。高密度 400G GPU ワークロードを忠実にエミュレートできるため、GPU サーバーの導入が不要で既存のテスト環境でイーサネット・ファブリックのテストが可能です。「Interop Tokyo 2024」会期中は「ShowNet」スペースにて実証実験のため稼働中です。

製品ページ URL：<https://www.toyo.co.jp/ict/products/detail/testcenter.html>

ニュースリリース(2024年6月12日)：

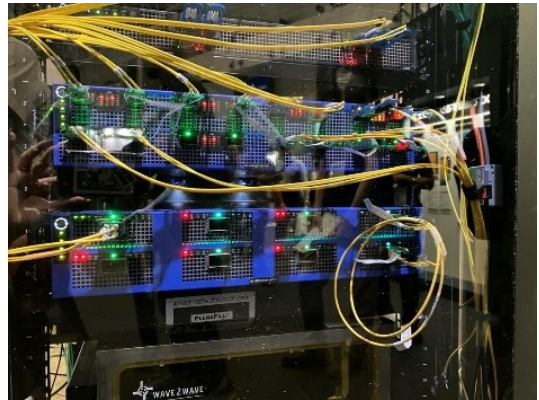
[https://www.toyo.co.jp/files/user/company/documents/release/240612\\_testcenter400g\\_aiml\\_72044.pdf](https://www.toyo.co.jp/files/user/company/documents/release/240612_testcenter400g_aiml_72044.pdf)

### <審査員コメント> (抜粋)

急速に普及が進む AI/ML 基盤の拡大において、マルチ GPU とコンバードイーターによる GPU 間通信と汎用通信が統合されたネットワークインフラのニーズが高くなっています。コンバードイーターの性能は、AI/ML 基盤の性能に直結しますが、そのネットワーク性能の検証には、実機環境に近い構築をもつての検証が必要であり、膨大なコストが生じます。

本テスターでは、GPU 間の通信モデルたる NVIDIA NCCL プロファイルに基づき、GPU サーバー群からの通信をエミュレーションしたトラフィックを生成し、AI/ML 用途におけるネットワークファブリックの性能を検証します。検証トラフィックとして、コンバードイーターネットワークトラフィックとコモディティイーターネットワークトラフィックを混在させることで、両用途を統合した環境におけるネットワークファブリックの性能も可能です。加えて、実際に構築された NVIDIA GPU クラスタ環境でのトラフィックと本テスターでのトラフィックとの比較検証を行い、その正確性を検証しており、GPU やコンバードイーターの開発にも活用できます。

AI/ML 基盤をテストすることで、社会を豊かにする可能性を持っている点を評価します。



実際の展示

### 【 審査員特別賞受賞 4 製品 】



#### 「Spirent OCTOBOX Wi-Fi 7 ソリューション」(テスト部門)

OCTOBOX は高い再現性を持つ安定した Wi-Fi 試験環境を提供する、スタック可能な Wi-Fi 7 対応テストベッドです。電波暗箱、減衰器などの検証に必要な機器を搭載し、自動化対応の統合環境により高い再現性を持つ Wi-Fi 7 テスト環境構築を実現。試験時間削減および製品品質向上に寄与します。

昨年の Interop Tokyo Best of Show Award テスト部門 グランプリに続き 2 年連続での受賞となりました。

製品ページ URL : <https://www.toyo.co.jp/ict/products/detail/octobox.html>



### <審査員コメント> (抜粋)

Wi-Fi 7 機器の性能や設置状況をエミュレーションできるテスト環境により、国内メーカーの製造するコモディティ製品を検証できる点—TR398 に基づく検証を通して、Wi-Fi 7 アクセスポイントに対してクライアントの位置や距離、Wi-Fi 7 の特徴たる 320MHz や 4K-QAM、MLO といった性能の有効性を定性的に検証できる点を評価します。



実際の展示製品の一部

### 「イーサネットテスト&モニタリングプラットフォーム」(テスト部門)

イーサネットテストおよびモニタリングに必要な「パケットキャプチャおよびプロトコルアナライザ」「障害エミュレータ」「トラフィックジェネレータ」を1台に機能集約したプラットフォームです。



低電力アイドルモードからウェークアクション後にデータ送信するまで、およびデータ送信終了後にスリープアクションを経て低電力アイドルモードになるまでを可視化し、省電力機能が正しく働いていることを確認できます。省電力イーサネット機能搭載装置のスリープ時間も計測できます。

インストール不要の Web ベースの直感的な GUI で、容易に使い始めることができます。

製品ページ URL : <https://www.toyo.co.jp/ict/products/detail/mga2510.html>

### ＜審査員コメント＞ (抜粋)

イーサネットの GMMI のモニタリングを行えるため、省電力(EEE)や、Auto ネゴシエーション、障害エミュレーションなど、L1 レイヤーならではのテストができるようになっています。低レイヤーで何が起きているのかということを確認でき、機能面のみならず、SFP デバイスでのトラフィックインジェクションなど、セキュリティ観点からの機能性拡張を期待します。



実際の展示

### 「SYNESIS 200G 対応ラックマウントモデル」(マネジメント&モニタリング部門)

東陽テクニカが開発した 1U サイズのラックマウント型のパケット収集装置です。最大 200Gbps のトラフィックを長時間連続で取りこぼしなくキャプチャできます。RAID5 ストレージと冗長化電源ユニットを搭載し、長期間の連続運転が可能です。

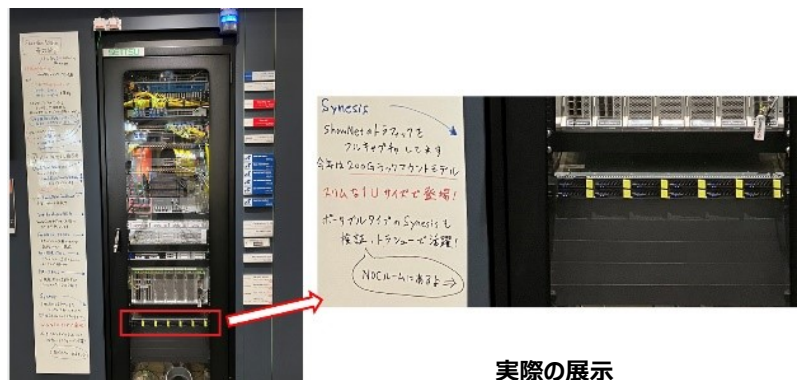


キャプチャしたデータを最大 100Gbps、1 ナノ秒の解像度で正確にリプレイし、ネットワーク障害の再現試験に利用できます。

製品ページ URL : <https://www.synesis.tech/>

### ＜審査員コメント＞ (抜粋)

これまでポータブルしかなかったところを、年数をかけて RAID5 ストレージなどによる冗長化を実現し発表した点、加えて長時間にわたり最大 200Gbps のトラフィックを正確にキャプチャ、1 ナノ秒でのリプレイ機能などの試みを評価します。



実際の展示



## 「Spirent TestCenter B3 800G アプライアンス (IEEE 802.3df 対応モデル) 」 (ShowNet コントリビュータ部門)

最大 8 ポート利用可能な 800G イーサネットプラットフォームです。800G を含めさまざまなスピードと伝送距離の規格に対応しています。業界でいち早く IEEE 802.3df に対応し、RS-FEC、Auto Negotiation、Link Training をサポートします。1 台で最大 6.4Tbps のラインレートを印加可能です。「Interop Tokyo 2024」では「ShowNet」スペースにて実稼働し 800G 対応通信機器とのライブデモを行っています。



製品ページ URL : <https://www.toyo.co.jp/ict/products/detail/testcenter.html>

### <審査員コメント> (抜粋)

ShowNet では今回、800G に関わる多数のチャレンジを実施いたしました。それに対して、800G テスターとして多彩なオプティクスに対応し、さまざまなデバイスのテストを実施いただきました。

### 【 東陽テクニカ出展概要 】

- ◆開催展名 : Interop Tokyo 2024
- ◆会期 : 6月12日(水)～6月14日(金) 10:00～18:00 ※最終日のみ 17:00 まで
- ◆会場 : 幕張メッセ(国際展示場)
- ◆ブース番号 : 5P04(東陽テクニカ/Spirent Communications ブース)
- ◆公式サイト : <https://www.interop.jp/>
- ◆出展製品詳細 : [https://www.toyo.co.jp/ict/seminar/detail/Interop\\_Tokyo2024.html](https://www.toyo.co.jp/ict/seminar/detail/Interop_Tokyo2024.html)

### <株式会社東陽テクニカについて>

東陽テクニカは、1953 年の設立以来、最先端の“はかる”技術のリーディングカンパニーとして、技術革新に貢献してまいりました。その事業分野は、情報通信、自動車、エネルギー、EMC(電磁環境両立性)、海洋、ソフトウェア開発、ライフサイエンス、セキュリティなど多岐にわたります。5G 通信の普及、クリーンエネルギーや自動運転車の開発などトレンド分野への最新の技術提供に加え、独自の計測技術を生かした自社製品開発にも注力し、国内外で事業を拡大しています。最新ソリューションの提供を通して、安全で環境にやさしい社会づくりと産業界の発展に貢献してまいります。

株式会社東陽テクニカ Web サイト : <https://www.toyo.co.jp/>

### ★ 本件に関するお問い合わせ先 ★

株式会社東陽テクニカ 経営企画部 マーケティンググループ

TEL : 03-3279-0771(代表) / E-mail : [marketing\\_pr@toyo.co.jp](mailto:marketing_pr@toyo.co.jp)

出展製品一覧ページ :

[https://www.toyo.co.jp/ict/seminar/detail/Interop\\_Tokyo2024.html](https://www.toyo.co.jp/ict/seminar/detail/Interop_Tokyo2024.html)

※本ニュースリリースに記載されている内容は、発表日現在の情報です。製品情報、サービス内容、お問い合わせ先など、予告なく変更する可能性がありますので、あらかじめご了承ください。

※記載されている会社名および製品名などは、各社の商標または登録商標です。